

小倉薬剤師会 11月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう
お願い申し上げます。

謹白

■事前申し込みの方のみご参加可能ですので、ご希望の際は、以下申込書にて必ず事前お申込みいただきますようお願いいたします。【メール申込のみ・FAX受付不可】

■WEB参加用URLの発行について

お申込みいただいた後、開催日前に各メールアドレス宛て、WEB会議ツールの視聴用URLをお知らせします。 ※開催日前に視聴用URLが届かない場合は事務局まで（093-941-3518）お問い合わせください。

■単位申請について

①ご参加いただいた会員様の単位取得は従来どおりの「研修カードによる申請」に変更いたします。

（従来どおり一括申請いたしますので、シールの配布はいたしません）

②手帳管理によるシールをご希望される場合は「終了報告書フォーム シール希望」欄にチェックを入れてください。研修単位の受け取り忘れや紛失時の再発行は行いませんのでご注意ください。

※①②いずれも、当日の24時までに、研修会開始時・終了時に提示されたキーワードを「終了報告フォーム」へ入力する必要があります。受講記録（ログイン・ログアウト）の時間とキーワードの報告で、認められると判断した受講者のみ、単位申請を行います。

記

【日時】 2021年 11月 9日（火）19:00～20:30

【開催方法】 WEB配信（WEB会議ツールを用いたオンライン研修）研修会

【情報提供】 19:00～19:15

『ニューキノロン系抗菌剤『ラスビック』について』

杏林製薬株式会社

【PS】 1. ヒューマニズム（倫理）：①-1・2

2. 医薬品の適正使用（安全性、経済性）：②-40・99、③-25

【特別講演】 19:15～20:30

座長 学術委員 鈴江晃平

『ガイドラインから考える肺炎診療における抗菌薬の使い方』

演者 医療法人医和基会 戸畑総合病院 呼吸器内科 野口 真吾 先生

<講演会要旨>

抗菌薬の選択は、原因微生物の推定や同定、薬剤感受性結果をもとに、エンピリック治療から標的治療へと段階的に行われる。日本呼吸器学会から発刊されている成人肺炎診療ガイドライン2017では、肺炎を、市中肺炎と院内肺炎・医療介護関連肺炎の2つに分類し、重症度や耐性菌リスクの有無を評価した上で、初期抗菌薬の選択を行うことを推奨している。しかし、近年、ガイドラインに準じた治療が必ずしも治療効果や予後に直結しないとの報告が散見される。本講演では、現在のガイドラインから考える実臨床での抗菌薬の使い方について概説するとともに、肺炎診療における今後の抗菌薬選択の課題についても紹介する。

共催：（一社）小倉薬剤師会
杏林製薬株式会社

11月9日（火）学術研修会申込書 ※定員に達し次第受付終了

申込先：kokuraph@mocha.ocn.ne.jp

メールでのお申込みに限り（FAXでのお申込みは受付不可です）

薬局名：

会員区分：

氏名：

※ご参加が確定しましたら薬剤師会よりメールにて、その旨お知らせいたします。